

町の考え方を問う

一

般

質

問

3月定例会では、観光問題・環境問題など、町政全般へ10名23項目にわたり質問がありました。なお、質問者及び質問項目は、右の表のとおりです。

A まず、事業の進捗状況については、重点

2点目については、西さのみ

5 政策の充実と財政の健全化について

歳入見込みや経常的経費の推計を行い、施策の体系ごとに見直しを行っていく。

4 公共施設の統廃合について

年度、23年度については、

3 行政改革について

平成21年度から平成23年度

2 誘客宣伝について

定については、計画期間を

1 第5次総合計画

度は40事業、平成20年度は

策定について

次に、後期実施計画の策

捗状況と後期実施計画の

44事業を予定どおり実施し

Q

1 第5次総合計画

度は40事業、平成20年度は

企画

第5次総合計画の進捗状況と3期目町政運営の柱事業について

- 勝俣 俊彦 (P 4)
 - ・第5次総合計画の進捗状況と3期目町政運営の柱事業について
- 川端 祥介 (P 4)
 - ・町誌・箱根町教育史の編纂について
 - ・高齢者の居住環境について
 - ・「環境先進観光地—箱根」について
- 二見 嘉彦 (P 5)
 - ・町職員の削減(定員適正化計画)について
 - ・森のふれあい館について
- 村野 由紀子 (P 5)
 - ・防災対策について(災害から町民を守るために)
 - ・健康で生きがいとやさしさのあるまちづくりについて
- 折橋 尚道 (P 5)
 - ・南足柄市との接続道路について
 - ・歴史的な経済不況時における観光施策について
 - ・観光庁に派遣する職員について
- 沖津 弘幸 (P 6)
 - ・「環境先進観光地—箱根」について
 - ・「子育てするなら箱根町」について
 - ・「燃えるごみ」の新たな分別収集について
- 山田 和江 (P 6)
 - ・利用者も働く人も安心できる介護制度の改善について
 - ・ごみ処理とごみ処理広域化について
- 勝俣 公好 (P 6)
 - ・仙石原地域の道路整備について
- 勝俣 清春 (P 7)
 - ・箱根・南足柄連絡道路の建設促進について
- 勝俣 剛一 (P 7)
 - ・無料法律相談について
 - ・葬具の管理等について
 - ・生活習慣病予防推進事業について
 - ・箱根の森小学校の通学バス進入路の整備について
 - ・学校週5日制に伴う大文字クラブ等の継続について

※上記の表による各議員の質問項目のうち、1項目について質問内容と町長の答弁を要約して掲載をしています。

源を有効に活用した連泊・長期滞在型へ誘導を図るとともに、新たなプロモーション体制の強化として、東京駅前観光インフォメーションセンターへ参画する。

また、訪日外国人観光客に対しては、国際観光見本市への出展、セールズプロモーションを実施し誘客につなげたい。

3点目について、推進計画については、平成20年度上半期の実施状況は、51項目のうち、完了が25、予定どおりの進捗が2、予定どおりの進捗率が78.4%となっている。現行の行政改革大綱が平成21年度で終了となるため、国の集中改革プランの動向を見据えながら、新たな大綱を策定する。

4点目について、統合による利便性の後退など新たな課題もあるので、さまざまな角度から検討したい。

5点目について、「環境先進観光地—箱根」を政策の柱にしなが、公会計制度に基づく財務諸表を作成し、より現実的で効果的なプランを考案したい。

4つ目の柱は、「自然観光資源活用型観光の推進」として、自然を生かすつ

「環境先進観光地—箱根」の基本的な考え方や具体的なビジョンについて伺う。

具体的施策を5つの柱に整理し、環境負荷の軽減と低炭素社会の実現を目指す。

1つ目の柱は、「移動手段のエコ化」として、電気自動車の普及に向けた率先導入や支援対策、充電施設のインフラ整備。

2つ目の柱は、「環境保全型観光地づくり」として、景観条例に基づく景観保全形成、廃棄物・排出物を削減し資源循環型社会を形成する資源分別収集の拡大、クリーンエネルギーを生み出す太陽光発電の普及促進。

3つ目の柱は、「自然資源の保全」として、二酸化炭素の吸収源としての役割を持つ森林整備と自然資源の保全の推進。

5つ目の柱は、「環境保全意識の醸成」として、環境教育の推進や、カーボンオフセット制度の普及、さらには、大学や研究機関などの共同研究やモデル事業などへ積極的に参画するとともに、環境負荷低減に向けた先進的なシステムや制度づくりのための研究にも取り組む。

以上の取り組みについては、第5次総合計画前期基本計画の計画期間である平成23年度までの3年間を基礎づくりの推進期間とし、私が本部長となる推進本部を設置し、町内を横断的に総合的に調整・推進していく予定である。

いずれにしても、観光地である箱根が、地球規模で環境問題に貢献し、低炭素社会づくりの模範となるよう邁進していきたい。

観光

「環境先進観光地—箱根」について

も、自然に対する負荷を低減した観光事業の推進、新たな観光施設、観光旅行分野の開拓。